

令和 4 年 9 月 5 日現在

機関番号：82808

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18K01641

研究課題名（和文）カンボジアのマイクロファイナンス機関の規制とその貧困削減及び収益性への影響の分析

研究課題名（英文）An empirical study on regulations and their impacts on the poverty reduction and profitability of microfinance institutions: The case of Cambodia

研究代表者

相場 大樹（Aiba, Daiju）

独立行政法人国際協力機構（緒方貞子平和開発研究所）・緒方貞子平和開発研究所・研究員

研究者番号：30813191

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、マイクロファイナンス機関（Microfinance Institutions, 以後MFI）や商業銀行の経営・貸出行動の変化を貧困削減と収益性の面から定量的に分析した。特に（1）近年のカンボジアの金融機関の参入の増加による競争の激化に伴う経営効率性や経営特性の変化について個別の金融機関のデータを収集し、分析を行った。さらに（2）2017年4月に施行された金利キャップ規制がMFIの貧困削減と収益性に対する経営姿勢にどのような影響を与えたかを現地で詳細なデータを収集し、分析を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

途上国の金融機関に関しての金融包摂と規制の関係に関する研究蓄積はまだ浅く、適切な制度設計が難しい状況である。特に、近年は多くの国でマイクロファイナンス機関に関する研究が盛んに行われているものの、貸出レベルなどの詳細なデータを用いて詳細に貸出行動を分析した研究は少ない。この点において、本研究ではカンボジアでの詳細な金融機関および貸出レベルでのデータを収集し、実証的にこの関係性を明らかにしたことに学術的な意義がある。また、本研究成果は、カンボジアだけでなくその他途上国において、金融機関の行動を把握し、適切な規制や金融政策を実行していく上での有益な知見を提供する。

研究成果の概要（英文）：In this study, we empirically analyzed changes in management and lending behavior of microfinance institutions (MFI) and commercial banks from the perspective of poverty reduction and profitability. In particular, we analyzed the changes in management and efficiency by collecting the data of financial institutions. Furthermore, (2) we collected granular data of MFI's lending, and analyzed how the interest rate cap regulation that came into effect in April 2017 affected MFI's poverty reduction and management attitude toward profitability.

研究分野：開発経済学

キーワード：金融包摂 金融機関の行動 マイクロファイナンス カンボジア 貧困削減 規制

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

研究開始当初の背景

途上国において、多くの家計や企業は金融発展の遅れにより資金制約に陥っており、それが生産性の低さに繋がっている。そのため、金融発展を促し、より多くの企業や家計を金融セクターに包摂されること（金融包摂）が貧困削減につながると考えられており、金融セクターの中心的な役割を担う商業銀行やマイクロファイナンス機関を政策的に発展させ、うまく機能させることが重要と考えられている。特に、マイクロファイナンス機関は従来型の銀行貸出から排除されてしまう貧困層にも、独特の貸出技術を用いることで、あるいはドナーからの金利の低い資金調達を通じて貸出を行うことができる機関であり、金融包摂を通じて貧困削減への中心的な役割を担っている。しかし、近年のマイクロファイナンス機関同士の競争に伴い貧困削減から利益志向に経営姿勢がシフトしてしまう現象や、規制があいまいであることが多いため MFI が乱立し過剰な競争が生まれてしまっていることが問題として挙げられている。

しかし、このような問題がみられる中で、マイクロファイナンス機関は多くの国で規制が未整備な状態であり、その国の MFI の経営状況や貸出行動を包括的にとらえられるデータは少なく、個々の MFI の行動に注目した研究の蓄積は少ない。そのため、マイクロファイナンス機関に対して、どういった規制を用いることが最適かといった議論が適切に行われていない状態がしばしばみられる。特に、カンボジアのマイクロファイナンス部門では、2017年に18%の貸出上限金利規制が施行されたが、貧困層向けのマイクロファイナンス機関の貸出金利はこれより高い水準であったため、規制後に貧困層向けの貸出が難しくなったといわれている。

研究の目的

本研究では、カンボジアのマイクロファイナンス機関（Microfinance Institutions, 以後 MFI とする）や商業銀行の経営・貸出行動の変化を貧困削減と収益性の面から定量的に分析する。特に、（1）近年のカンボジアでは MFI の商業化の進行や一般的な金融機関の数が増えたことによる競争の激化がみられる。そのため、それに伴う MFI や商業銀行の経営特性の変化と貧困削減と収益性に対する姿勢、そして経営効率性の変化について個別の金融機関のデータを用いて定量的に分析を行う。さらに、（2）2017年4月に施行された金利キャップ規制が MFI のアウトリーチとサステナビリティに対する経営姿勢にどのような影響を与えたかを分析し、MFI の貸出行動・経営行動、ならびに MFI の経営効率の改善に向けた政策提言を行うことを目的とする。

研究の方法

- （1）経営の変化に関する分析では、カンボジア国立銀行（National Bank of Cambodia）が公表するデータより、商業銀行および MFI の財務・貸出データを収集した。これを利用して、商業銀行や MFI の費用関数を推定し、規模経済性の有無の検証を行っ

た。また、Stochastic Frontier Analysis や Data Envelopment Analysis の手法を用いて、経営効率性および経営特性の変化を分析した。

- (2) 貸出金利キャップの影響の分析では、カンボジア信用局(Credit Bureau Cambodia、以後 CBC)が収集している各銀行の貸出データを利用して、貸出金利キャップ規制導入前後での銀行の貸出行動の変化を DID の形で分析を行った。また、どういった顧客に影響があったかという分析も同様のアプローチで行った。さらに、2019 年に家計調査として、2017 年以前に MFI の顧客だった家計を中心に 1,000 家計にインタビュー調査を行った。この時も、CBC のデータをもとに、2017 年以前の家計を特定したうえで同家計のトラッキングを行い、2019 年の状況について聞き取り調査を行った。そこで得られた家計データを利用しての分析も行った。

研究成果

本研究から得られた成果としては、

- (1) 商業銀行に関しては、全体的な経営効率性が低く、経営改善によってより効率的な資金動員が可能であることを示唆する結果が得られた。また、カンボジアの MFI の経営は分析期間であった 2010 年から 2017 年の間に大きく変化しており、平均的により利益追求型に変化しており、より資本集約的になっていたことが分かった。
- (2) 金利キャップの影響に関しては、規制後に金融機関の一件あたり貸出残高が有意に上がっていたことや無担保でのローンの貸出が減少したことが明らかになった。また、金利キャップ以後で貧困層と思われる家計の金融アクセスが減っていたことも明らかになった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Daiju Aiba, Sovannroeun Samreth, Sothearoath Oeur and Vanndy Vat	4. 巻 2020-008
2. 論文標題 The Impact of Interest Rate Cap Policy on the Lending Behavior of Microfinance Institutions in Cambodia: Evidence from millions of observations in the Credit Registry Database	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JICA-RI Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.18884/00001052	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Sovannroeun Samreth, Daiju Aiba, Sothearoath Oeur and Vanndy Vat	4. 巻 No. 219
2. 論文標題 Impacts of the Interest Rate Ceiling on Microfinance Sector in Cambodia: Evidence from a Household Survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JICA-RI Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.18884/00001043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 相場大樹	4. 巻 65
2. 論文標題 「カンボジアにおける世界初のデジタル通貨導入戦略」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 122-128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Daiju Aiba, Hidenobu Okuda	4. 巻 No. 212
2. 論文標題 Are the Operations of Microfinance Institutions Different Across Countries? A Comparative Analysis of Cambodia and the Philippines Using DEA and PCA	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JICA Research Institute Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 .
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.18884/00001031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daiju Aiba, Okuda Hidenobu	4. 巻 Online Ready
2. 論文標題 The Cost Efficiency of Cambodian Commercial Banks: A Stochastic Frontier Analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Singapore Economic Review	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0217590821500673	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Daiju Aiba, Sovannroeun Samreth, Sothearoath Oeur, and Phal Vandy	4. 巻 8
2. 論文標題 Interest Rate Cap Policy in Cambodia- Summary of Findings from a Survey and the Policy Implications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JICA Ogata Research Institute Policy Note	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18884/00001049	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 1件)

1. 発表者名 相場大樹
2. 発表標題 マイクロファイナンスローンの金利の決定要因：カンボジアにおける金利上限規制の事例に基づく分析
3. 学会等名 アジア政経学会2021年度春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 相場大樹
2. 発表標題 カンボジアでのマイクロファイナンス機関に対する金利規制の効果：信用情報データを使った実証分析
3. 学会等名 アジア政経学会 第25回定例研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 相場大樹
2. 発表標題 「規制がもたらす金融包摂への影響：カンボジアの18%の金利上限規制の事例」
3. 学会等名 比較経済体制学会 第59回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Daiju Aiba
2. 発表標題 The role of regulation in financial inclusion: the case of a lending rate restriction on microfinance institutions
3. 学会等名 XX April International Academic Conference On Economic and Social Development (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 相場大樹
2. 発表標題 The role of regulation in financial inclusion: The case of lending restriction on microfinance institutions
3. 学会等名 2019年度秋季日本金融学会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

カンボジアにおける金融包摂促進のための実証研究
https://www.jica.go.jp/jica-ri/ja/research/growth/growth_20190201-20230331.html

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	奥田 英信 (Okuda Hidenobu) (00233461)	帝京大学・経済学部・教授 (32643)	
研究分担者	小田島 健 (Odajima Ken) (00817679)	独立行政法人国際協力機構・研究所・上席研究員 (82808)	2019年度より、研究協力者に変更

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	オア ソテオロス (Ouer Sotheoroath)		
研究協力者	バット バンディー (Vat Vanndy)		
研究協力者	ラム ロバイ (Lam Roviey)		
研究協力者	小田島 健 (Odajima Ken)		
連携研究者	サムレト ソバンルン (Samreth Sovannroeun) (90614371)	埼玉大学・人文社会科学研究所・准教授 (12401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------